

ペルーの働く子どもたちへ

Nから子どもたちへ

2023年7月22日 [土] (開場12:30 / 開演13:30)

会場: R'S ART COURT (労音大久保会館)

東京都新宿区大久保 1-9-10

入場料: 前売り 2,500 円 / 当日 3,000 円 / 中学生~ 18 歳 1,500 円

チケット申し込み: nagayamacf@gmail.com

ホームページやフェイスブックでも随時情報を提供しています

ホームページ

<https://nagayama-chicos.com/>



フェイスブック

<https://www.facebook.com/nagayamakodomo/>



今年はオンラインでの配信はありません。ぜひ会場にお越しください。

Program

- ◆コンサート「命を生きる」坂田明・栗田妙子
- ◆講演「少女たちは社会の鏡」大谷恭子
- ◆朗読『パチャママしてる?』水野慶子・宇佐照代
- ◆映画『ペルーの働く子どもたち物語 vol.15』

主催: 永山子ども基金

共催: 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 / 神奈川シティユニオン / 認定NPO法人 国際子ども権利センター /

特定非営利活動法人 Crimeinfo / NGO ピースポート / NGO クシ・パンク協会 / パチャママ基金

後援: ダイニング街なか

画: 井江春代

コンサート

「命を生きる」

坂田 明 (さかた あきら)

広島県呉市出身。広島大学水産学科卒業。1972年から1979年末まで山下洋輔トリオに参加。1980年トリオを結成、以後、様々なグループの結成、解体を繰り返しながら音楽シーンの最前線を走る。今春、ヨーロッパのミュージシャンとのユニット「ARASHI」、「ENTASIS」でヨーロッパツアーを行う。最新作は「坂田明COCODA／枯れたひまわり」。

<http://www.akira-sakata.com/>

栗田 妙子 (くりた たえこ)

東京中野出身。幼少よりピアノを習い、小学校で合奏、学生ビッグバンドで即興に興味を持ち、卒業後に作曲を始める。現在は渋谷毅とのDUO「栗澁」等で活動中。また、合唱やバレエの伴奏、バレエやミュージカルなど舞台音楽の作曲にも携わる。2021年、東京混声合唱団より作曲委嘱を受け「歌詞のない歌」を定期演奏会にて初演(山田和樹指揮)。

<https://kuritataeko.jimdofree.com/>



© 宮川舞子



講演

「少女たちは社会の鏡」

講師：**大谷 恭子** (おおたに きょうこ)

永山子ども基金代表。弁護士として主に刑事事件や社会的に不利な立場に置かれた人の権利問題などに取り組む。東京女子大学非常勤講師、沖縄大学客員教授を経て、東京拘置所刑事施設視察委員会委員長、内閣府障害者政策委員会委員などを歴任。現在、一般社団法人若草プロジェクト代表理事。「それでも彼を死刑にしますか」など、著書多数。



朗読

「パチャママしてる?」



朗読：**水野 慶子**
(みずの けいこ)

『第9回永山子ども基金チャリティトーク&コンサート』より朗読で出演。

役者。1982年～93年、テント芝居『風の旅団』に参加。以後、『独火星』などに出演。金時鐘 詩の朗読ライブ『ここより遠くよりここに近く』(2008年)『四月よ、遠い日よ』(2011年)に朗読で出演。2012年



伴奏：**宇佐照代**
(うさてるよ)

短編アニメ「七五郎沢の狐」に声で出演。(公)アイヌ民族文化財団アイヌ文化アドバイザー。

釧路市生まれ。アイヌ伝統舞踊や刺繍、木彫り、ムックリ(口琴)、トンコリ(弦楽器)などに取り組むほか、アイヌパフォーマンスグループ「AYNU RUTOMTE」の代表として活動中。アイヌ料理店「ハルコ口」営業中。アイヌ語の



原作：**井江春代**
(いへ はるよ)

作品を生み出し、1986～91年パチャママシリーズ全6冊(フレーベル館)。2011年5月死去。

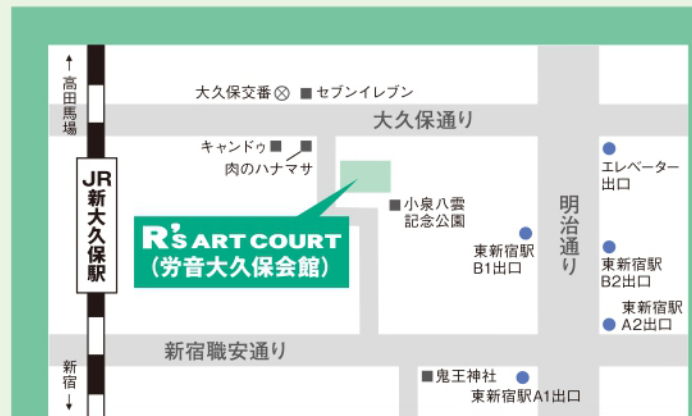
1923年鳥取県生まれ。女子美術大学卒。児童出版の仕事に就く。絵本『かえるのけろ』で第13回小学館絵画賞受賞。73年南米を訪れて以来、ペルーなどに伝わる神話や民話をもとに独自のストーリーや作

映画

『ペルーの働く子どもたち物語vol.15』

製作：NGO クシ・ブंक協会

監督・総指揮：**義井 豊** (よしい ゆたか)



会場地図 [R'S ART COURT]

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、飲食のご準備はありません。